

### 3 数値目標の一覧

みやぎ21健康プラン 目標値一覧

指 標	宮 城 県		健康日本21		
	現状(2000年)	目標(2010年)	現 状	目 標 (2010年)	
栄 養 ・ 食 生 活	肥満者の割合の減少 30代以上男性	28.8%	25%以下	24.3%	15%以下
	〃 40代以上女性	28.5%	25%以下	25.2%	20%以下
	朝食欠食者の割合の減少				
	20～30代男性	27.7%	23%以下	32.9%,20.5%	15%以下
	20～30代女性	18.4%	15%以下	—	—
	食塩摂取量の減少(成人)	13.8g	12.5g以下	13.5g	10g未満
	カリウム摂取量の増加(成人)	2.9g	3.2g以上	2.5g	3.5g以上
	カルシウム摂取量の増加(20～30代)	528mg	580mg以上	—	—
野菜摂取量の増加(成人)	325g	350g以上	292g	350g以上	
身 体 活 動 ・ 運 動	意識的に運動を心がけている人の増加				
	男性	41.7%	63%以上	52.6%	63%以上
	女性	48.3%	63%以上	52.8%	63%以上
	日常生活における歩数の増加 男性	7431歩	8400歩以上	8202歩	9200歩以上
	女性	6705歩	7700歩以上	7282歩	8300歩以上
	運動の習慣化(運動習慣者の増加)				
	男性	22.8%	41%以上	28.6%	39%以上
	女性	25.4%	49%以上	24.6%	35%以上
	何らかの地域活動を実施している者の増加(60歳以上) 男性	25.8%	58%以上	48.3%	58%以上
	女性	28.3%	50%以上	39.7%	50%以上
保健所や市町村が実施する運動指導を受けた人の増加	15,656人	60,000人	—	—	
健康運動マンパワーの増加					
健康運動指導士	111人	200人	—	—	
健康運動実践指導者	361人	700人	—	—	
心 の 健 康	健診受診者のうちストレス自己チェック実施者	—	100%	—	—
	気軽に相談できる相手のいる人の増加	70.1%	100%	—	—
	ストレス(心の健康)相談を標榜している相談窓口	—	1市町村1ヶ所以上	—	—
た ば こ	喫煙の健康影響に関する知識の普及	27.3～90.6%	100%	27.3～84.5%	100%
	未成年者の喫煙の減少	—	0%	3.8～36.9%	0%
	禁煙希望者への支援による非喫煙率の増加 男性	43.8%	62%	—	—
	女性	86.3%	92%	—	—
	公共施設における分煙対策の促進	61.2%	100%	—	100%

	指 標	宮 城 県		健康日本21	
		現状(2000年)	目標(2010年)	現 状	目標(2010年)
アルコール	多量に飲酒する人の減少	12.5%	7.0%	4.1%	3.2%以下
	男性				
	女性	0.5%	0.3%	0.3%	0.2%以下
	未成年者の飲酒の減少	—	0%	17.2~51.5%	0%
	「節度ある適度な飲酒」を知っている人の増加	38.4%	100%	—	—
歯科	3歳児の一人平均むし歯数	2.76本	1本以下	1.67本	—
	80歳で20本以上歯を保持する割合	18.9%	20%以上	15.25%	20%以上
	かかりつけ歯科医を持つ割合	42%	70%以上	—	—
脳卒中	自分の血圧を知っている人の割合	65.3%	80%	—	—
	血圧の正常値を知っている人の割合	69.4%	80%	—	—
	定期検診受診率の向上	74.6%	80%	—	—
がん	がん検診受診率の向上				
	肺がん・胃がん	50.2%、61.0%	70%		受診者数
	その他のがん	36.4~41.3%	60%		5割以上増加



## 目標値について

### 目標値の設定

みやぎ21健康プランでは、県民健康栄養調査等で把握された県民の健康課題について、取り組むべき目標項目を選定して目標値を設定しています。

その理由としては、取り組む基本的方向性と重点の割合を県民に提示することにより県民運動としての理解が得られやすいこと、課題に対する対策の実施状況について評価が可能となり、次の段階の計画に反映できること、が挙げられます。このため、本プランでは原則として各項目ごとに目標値を設定することとしています。

### 目標値の性格

#### ① 環境整備

個人が自分の健康のためにいかに行動すべきかは、基本的に個人の自由な意思に基づく選択に委ねられており、本プランでは、県民に対して一定の生活習慣を押し付けようとするものではありません。本プランの目的は、県民に健康に関する情報提供を行うとともに、個人の健康づくりのための環境整備を行うことにあります。

#### ② 市町村計画との関わり

本プランにおける目標値は、県として目標項目の選定と目標値を設定した根拠や考え方について情報提供し、それぞれの市町村において、その情報を基に、地域の実状に応じて住民の生活をイメージした具体的取組みに生かしていただく、あるいは、地域や職域で行われている保健事業の中で有効に活用していただきたいと考えています。

#### ③ 地域での活用

先に実施した県民健康栄養調査では、県内を仙台市・他市部・町村部の3つの区域に分けて調査内容を取りまとめているますが、この結果からは多少の地域格差が見られました。県では、各地域の方々に地域の実状を認識していただくための情報を提供していくこととしており、各地域においては、県が提示した目標値を健康に関する情報として捉え、この情報を基に各地域の実状に応じた取組みに活用していただきたいと考えています。